

〈月経中の検査〉

LH・FSH・プロラクチン（1,600円前後）

LH（黄体化ホルモン）…成熟卵胞に作用して排卵を起こさせ黄体化を強めます。
FSH（卵胞刺激ホルモン）…原始卵胞に作用して卵を发育させ、成熟卵胞にします。
プロラクチン…乳腺を刺激して母乳を出そうとするホルモンです。このホルモンが過剰（16以上）に出ると、排卵障害や黄体機能不全をきたします。

TRHテスト（15分かかる検査）（4,900円前後）

潜在性高プロラクチン血症（一日のうちにプロラクチンの量の変動）や夜間高プロラクチン血症（夜間だけプロラクチンの量が多くなる）によって起こる排卵障害や黄体機能不全をみます。

LH-RHテスト（90分かかる検査）（6,100円前後）

間脳と脳下垂体の働き、卵巣の働きをみて排卵障害の原因や不妊の原因をさぐります。

免疫（自費6,000円前後）

抗カルジオリピン抗体…自己免疫異常に関係する抗体で、血液凝固異常・妊娠早期の流産や中後期の死産を引き起こすとされています。
抗核抗体…受精卵を異物と感じ拒絶しないかをみます（着床障害）。

〈月経開始から7～10日目〉

卵管通気通水検査（7,000円前後）

卵管にガス（二酸化炭素）を流し、卵管の通りをみます。その後、お水（生食）を流して卵管の通りをよくします。

子宮腔内造影（9,000円前後）

子宮腔内の形態やポリープ、粘膜下筋腫の有無を調べます。

〈排卵期〉

フーナーテスト（200円前後）

性交後の射精された精子が、頸管粘液を通過し子宮腔内に進入できるかを調べます。

〈その他〉

貧血検査（550円前後）

子宮内膜症や子宮筋腫では、過多月経となり貧血を招くことが多くなります。また、貧血になるとホルモンバランスを崩すことがあります。

CA125（1,000円前後）

子宮内膜症が活動しているかどうかをみる検査です。子宮内膜症があると卵管が癒着し、卵管への卵子の取り込みが不良となります。また、卵巣ではチョコレートのお腫れを起こし排卵を制御する事があります。

おりもの感染症（1,500円前後）

クラミジア感染症は子宮頸管で炎症を起こし、放置すると子宮・卵管・腹腔内へ広がる可能性があります。自覚症状はないことが多いです。

抗精子抗体（自費8,000円前後）

精子を異物とみなして、精子を不動化してしまいます。

血液感染症（自費4,000円前後）

B型肝炎・C型肝炎・HIV・梅毒を調べます。

*LHスティック1本（250）（自費750） *精子コップ1個（自費200）